

大学自己評価部会だより

第93号 (令和6年5月)

アンケート調査結果を報告します

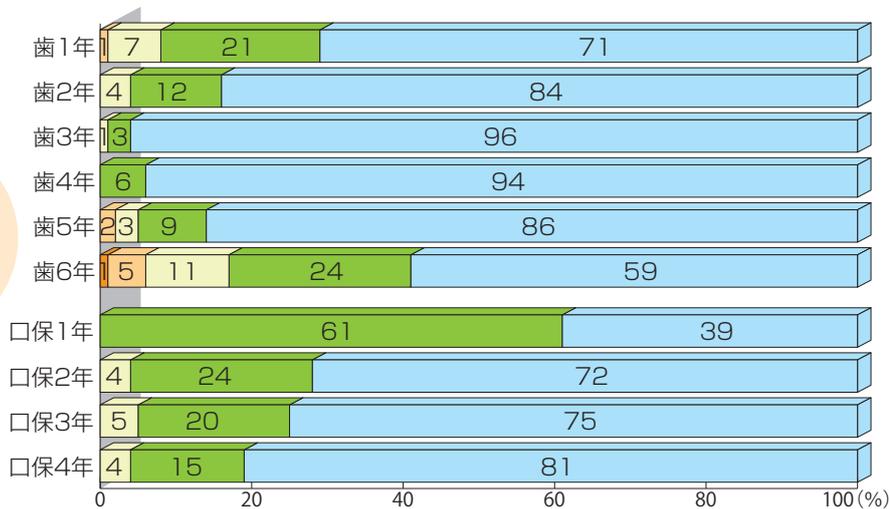
歯学科、口腔保健学科の学生を対象としたアンケートから、助言教員の利用率、学習相談や助言、奨学制度、サークル活動の満足度について令和元年から令和5年度までの推移を報告します。

① 助言教員制度の利用率

学生が何か相談したい時のために九州歯科大学にはいくつか相談窓口を設けています。そのひとつが助言教員制度です。どこに相談していいかわからない時は「何でも相談室」で対応しています。



令和5年度
助言教員制度の
利用回数
(学年別)

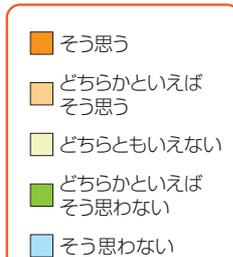
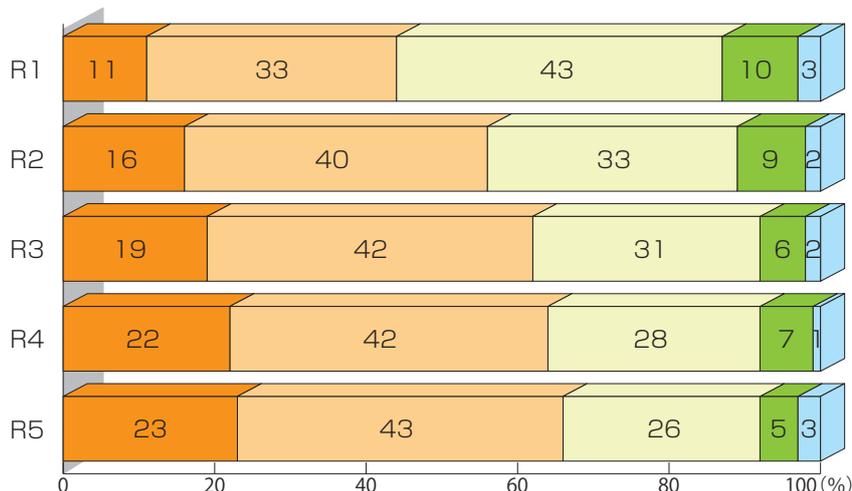


② 学習相談や助言に対する満足度

全学的な学習相談や助言に対する満足度は増加傾向にあります。



総合的に判断して、
本学の学習相談や
助言などは適切に
行われていますか

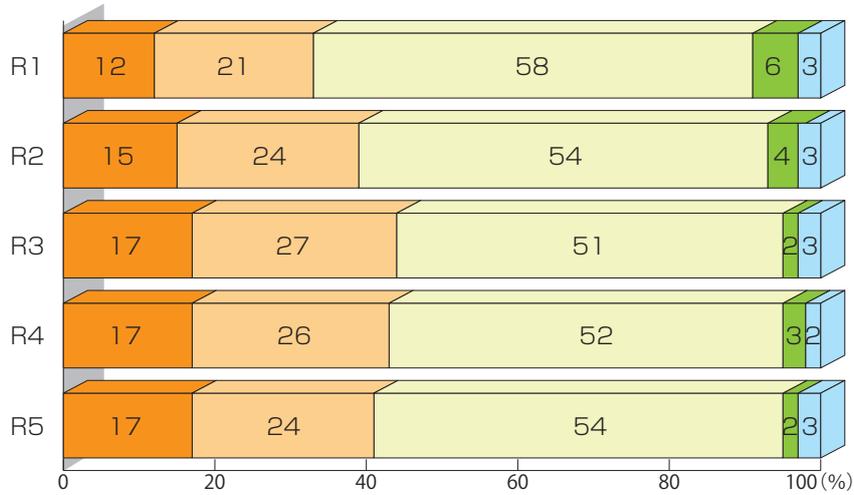




③ 奨学制度について

奨学制度については大学HPや、掲示板で随時お知らせしています。

奨学制度は
充実している
と思いますか

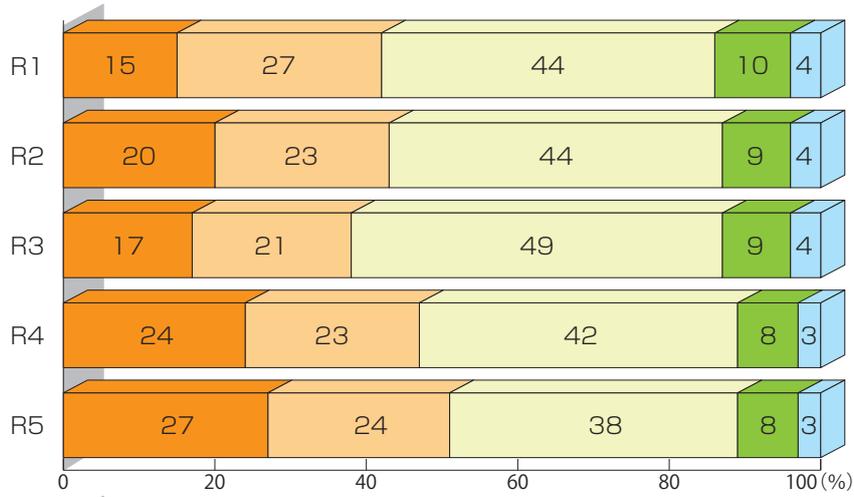


- そう思う
- どちらかといえば
そう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえば
そう思わない
- そう思わない

④ サークル活動への満足度

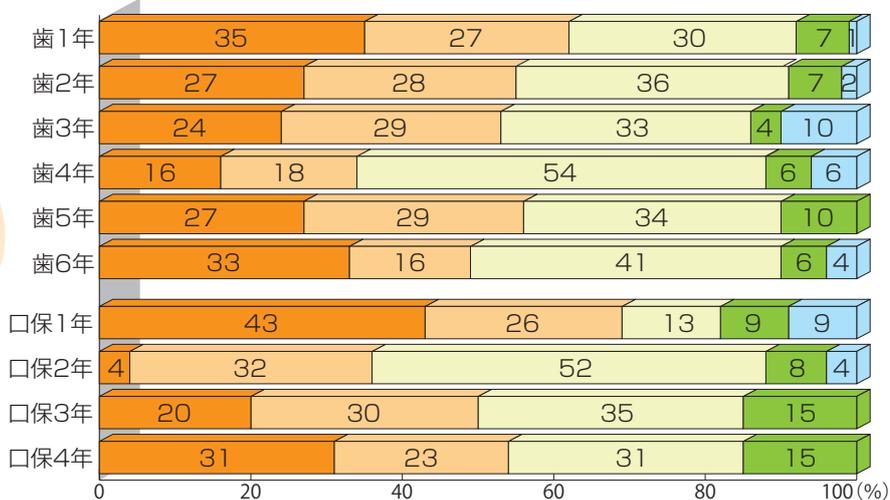
サークル活動に「満足している」と回答する学生は、学年間で差はありますが、どの学年も8割以上でした。

サークル活動
満足度
(全学年・年度別)



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足して
いない
- 全く満足していない

令和5年度
サークル活動
満足度
(学年別)



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足して
いない
- 全く満足していない

この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。

九州歯科大学憲章(抜粋) 2.九州歯科大学の基本理念

九州歯科大学の基本理念を以下のとおり定め、九州歯科大学がどのような人材の養成、社会貢献、および研究活動を展開するのかをここに明らかにします。

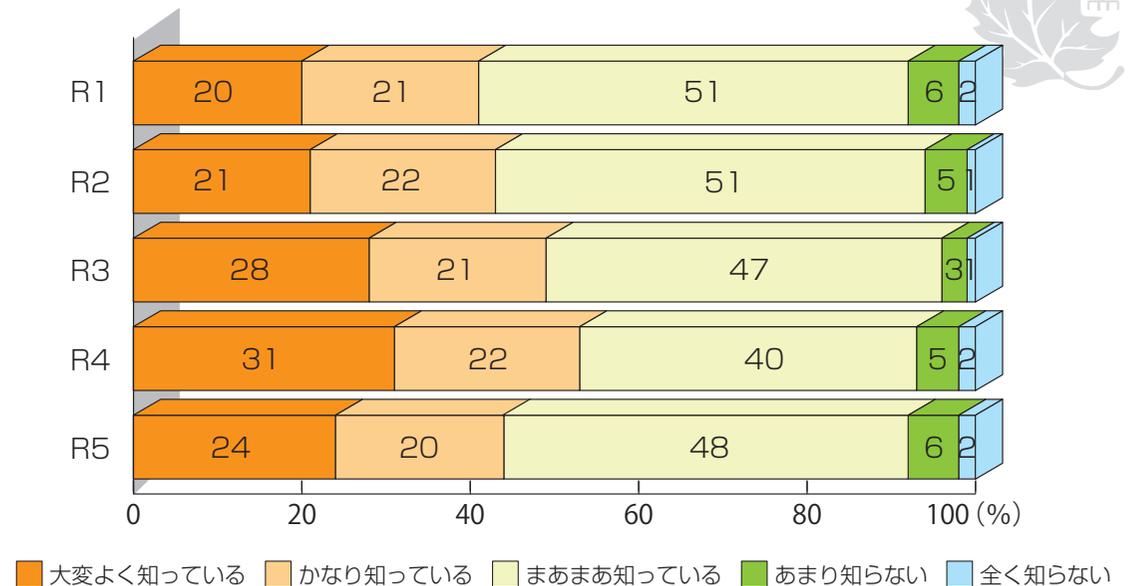
- ・ 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
- ・ 地域医療の中核的役割を果たす
- ・ 歯科医学を支える研究の推進

アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学の基本理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を令和元年度～令和5年度の5年間で比較しました。

① 大学の基本理念の周知度

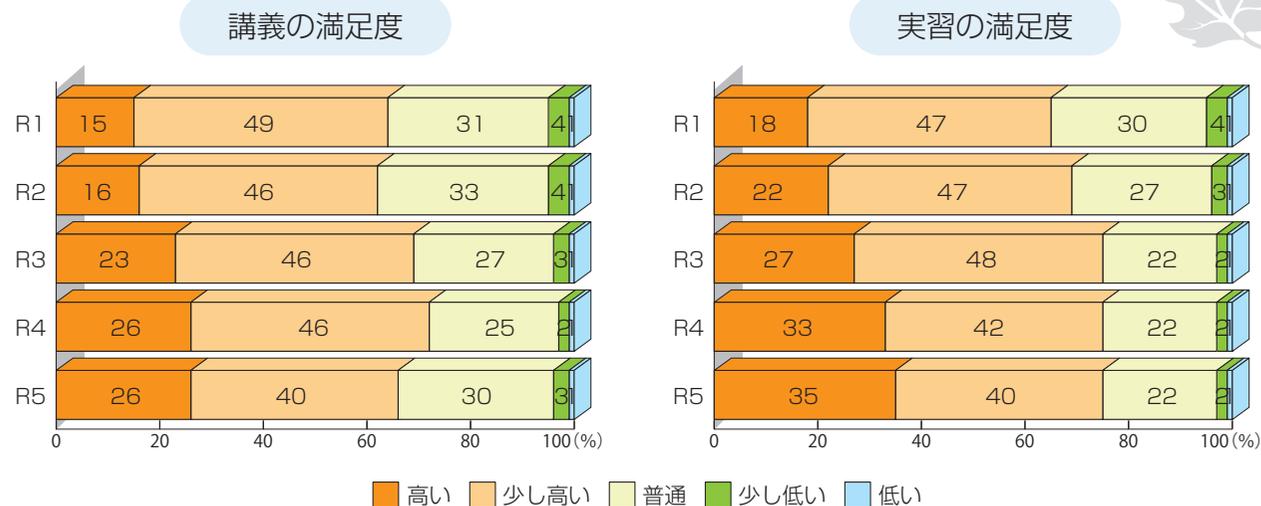
九州歯科大学の基本理念についての周知度について「大変よく知っている」と回答した学生が令和3年および4年度に比べて令和5年度では少し減少しています。「まあまあ知っている」と答えた学生は半数程度でした。「あまり知らない」および「全く知らない」と答える学生の割合はあまり変化が見られません。今後も、継続的に大学の基本理念の周知に努めていく必要があります。





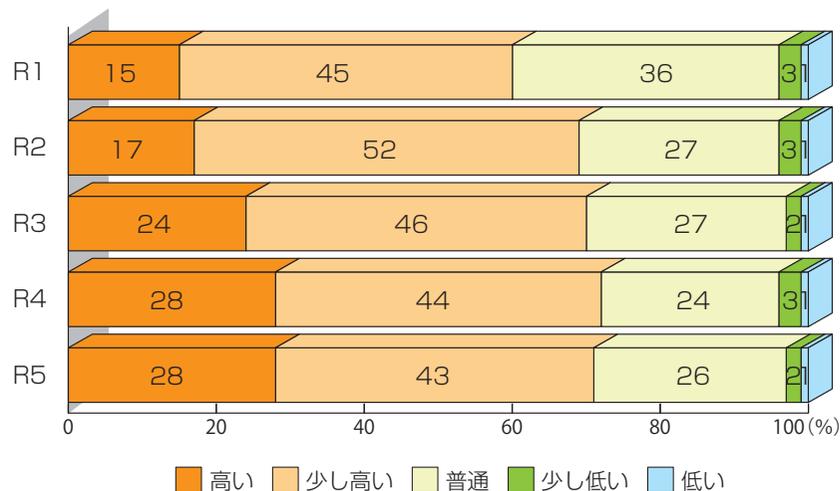
2 講義、実習の満足度

令和5年度も講義、実習の満足度は高い状態を継続しています。今後とも講義および実習の満足度が増加するように改善の努力を続ける必要があります。



3 大学教育への満足度

大学教育への満足度についても7割程度の学生が「少し高い」以上の満足度を回答しています。新型コロナウイルスの影響もあり、令和元年度と比較すると令和5年度は満足度が「高い」と答えた学生の割合は2倍程度に増加しています。「高い」の満足度がさらに増加するように教育改善の努力を続けていかなければなりません。



九州歯科大学は、基本理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行います。

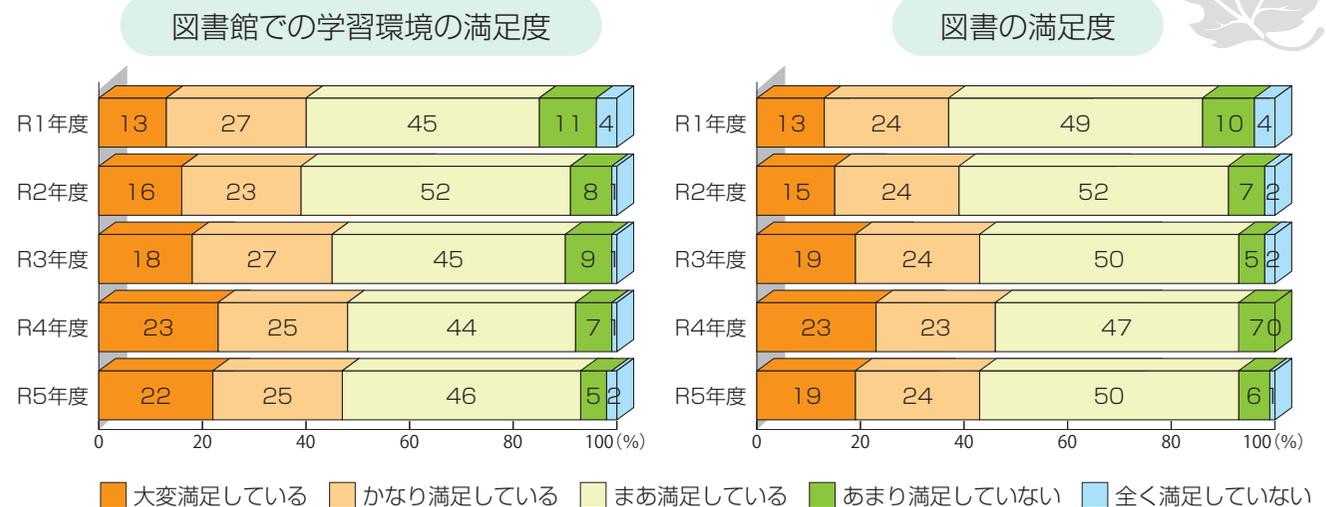
- (1) プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。
- (2) 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。
- (3) 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。
- (4) 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。
- (5) 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。
- (6) 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する。

アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設, IT関連施設, 体育関連施設等の満足度を令和元年度～令和5年度の各年度で比較しました。

① 図書館関連の満足度

図書館での学習環境および図書の満足度について、令和元年度から令和5年度にかけて、(大変満足している、かなり満足している)の割合が40%前後を維持してきました。今後もさらに図書館関連の満足度が上昇していくように、改善を継続していかなくてはなりません。

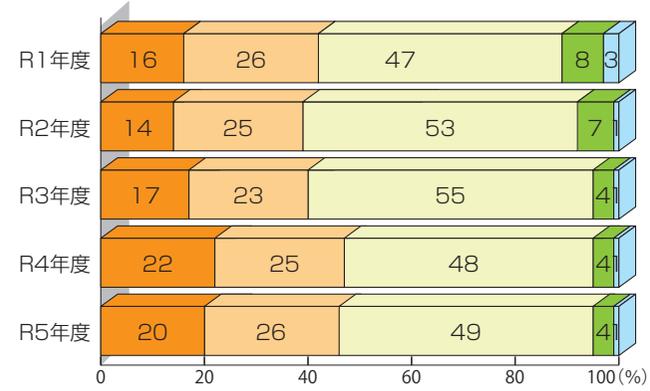




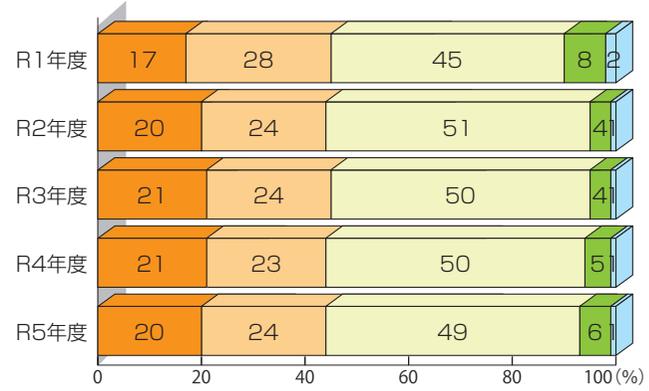
② IT 関連施設等の満足度

令和元年度から令和5年度にかけて、演習室およびパソコンの満足度について、(大変満足している、かなり満足している)の割合が40%前後を維持していました。

コンピューター演習室の満足度



パソコンの満足度



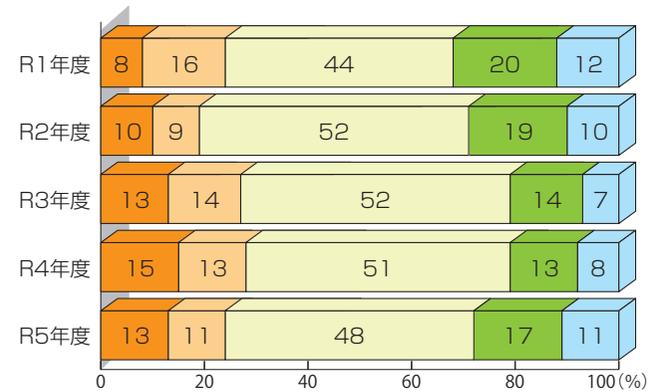
■ 大変満足している ■ かなり満足している ■ まあ満足している ■ あまり満足していない ■ 全く満足していない

③ 体育関連施設の満足度

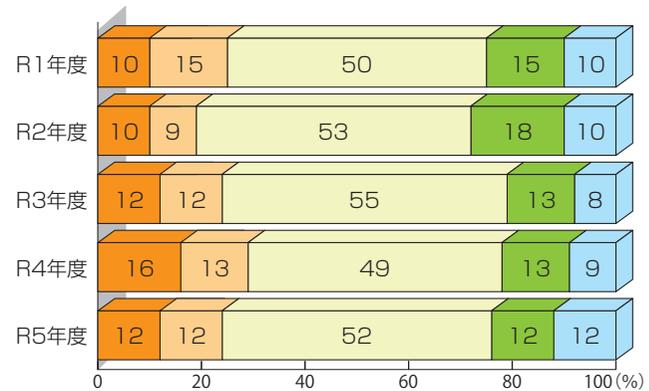
令和4年度から令和5年度にかけて、体育館、グラウンドの満足度について、(大変満足している、かなり満足している)の割合の減少が認められました。

アンケート結果により、今年度、満足度低下の原因となっていました体育館施設(トイレ)の修理が行われました。

体育館の満足度



グラウンドの満足度



■ 大変満足している ■ かなり満足している ■ まあ満足している ■ あまり満足していない ■ 全く満足していない

歯学科カリキュラムポリシー

1. 全人的歯科医療を展開する者として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目及びコミュニケーション能力を培う科目を充実させる。
2. 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野及び専門臨床分野科目及びプロフェッショナリズム関連科目を充実させる。
3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカル及びクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる。
4. 全ての世代において全身の健康増進の視点に立った安全な歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる。
5. 多職種連携の重要性を理解するために、学外施設での臨床実習科目を充実させる。
6. 問題解決能力及び研究能力を醸成するために、チュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる。
7. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる。

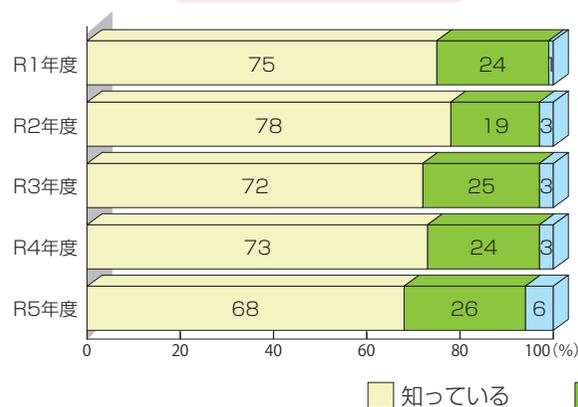
アンケート調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、令和元年度～令和5年度の5年間で比較しました。

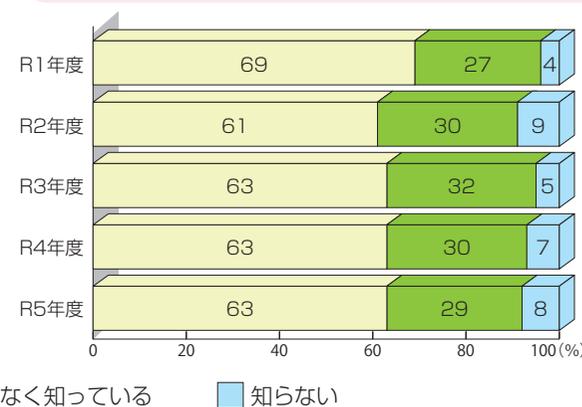
① 健康に関する相談室の認知度

キャンパスライフガイダンスで案内するなど、健康管理室と学生相談室の認知度向上に努めています。令和5年度は健康管理室を利用したことがある学生の割合は31.8%、学生相談室を利用したことがある学生の割合は11%でした。

健康管理室の認知度



学生相談室(カウンセリング・ルーム)の認知度



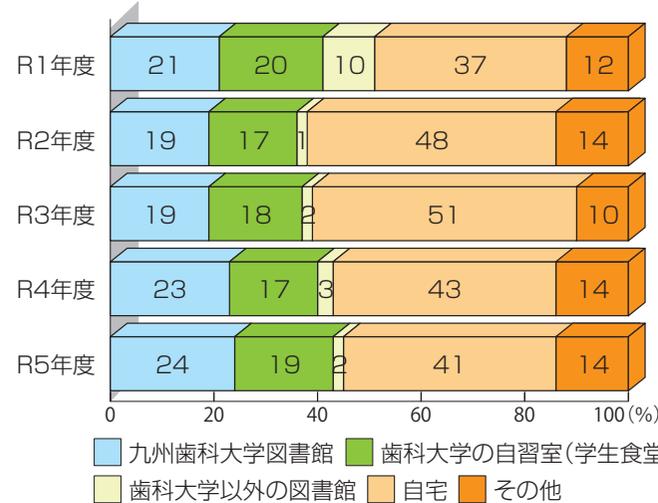


② 自主学習の場所と時間

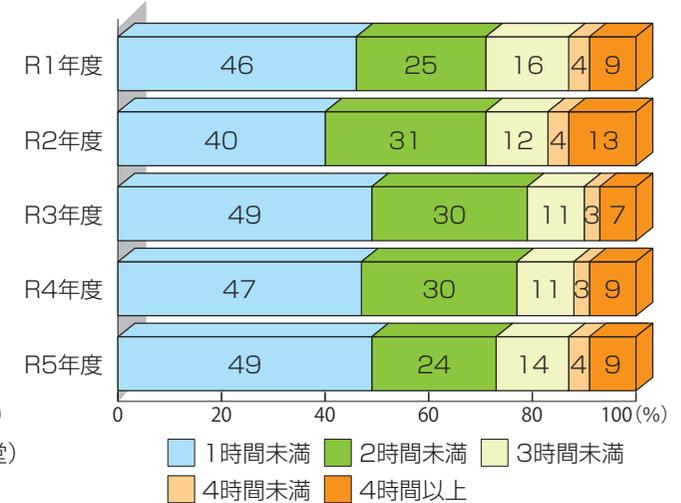
休日の自主学習場所は、学内がわずかながら増えており、自宅は減っています。

歯学科において、1日の自主学習時間が1時間未満の割合は1年生71.3%、2年生63.9%、3年生67.6%、4年生30.1%、5年生27.0%、6年生41.0%でした。一方、4時間以上の割合はCBTを受験する4年生で16.9%、国家試験を受験する6年生で28.9%でした。

土日・祝祭日など、大学が休みの時の自主学習は主にどこを利用しますか。

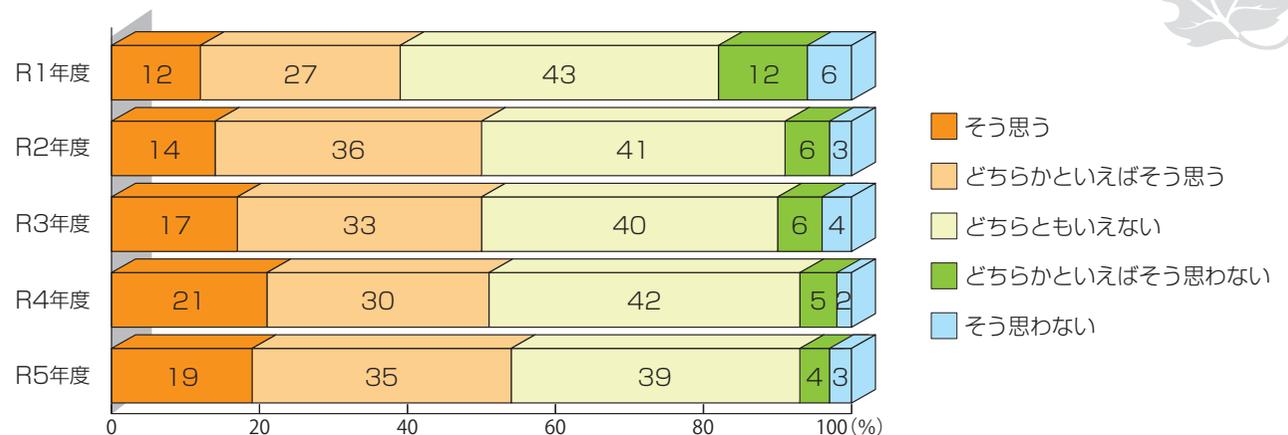


試験勉強を除くあなたの自主学習時間は、1日平均何時間ですか。



③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

生活面でのニーズの把握に関する満足度は、「そう思う」および「どちらかといえばそう思う」が着実に増加しています。「そう思わない」および「どちらかといえばそう思わない」には変化がありません。満足度が低い理由を確認して改善していくことで、さらなる満足度の向上を目指します。



歯学専攻のディプロマポリシー

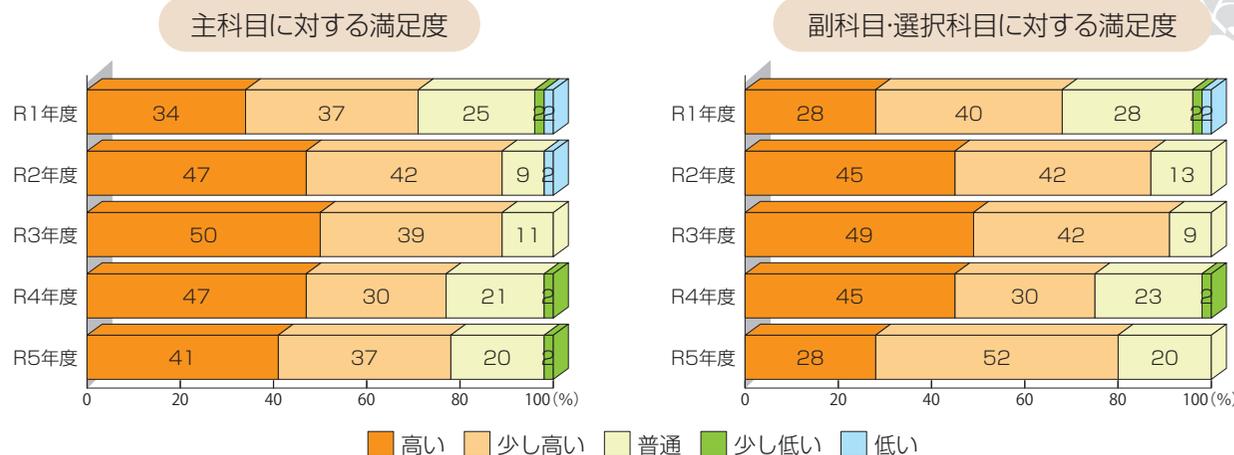
1. 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること
2. 専門的医療人として、科学的根拠に基づいて論理的な思考を展開する能力を有し、先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること
3. 生涯にわたり研鑽し、全身の健康という視点に立った口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること
4. 学際領域の学問分野と協働し地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること
5. 多職種と連携した歯科保健医療活動を通して、社会貢献する能力が備わっていること
6. 海外の研究者との積極的な情報交換を行い、国際社会へ研究成果を発信できる能力が備わっていること

アンケート調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、シラバスや学習相談、および研究の実態などについて、令和元年～令和5年度の5年間を比較しました。

① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

主科目および副科目・選択科目の「高い」の割合が、令和5年度は4年度と比べ減少していました。これらの科目の満足度が増加するように、問題点を把握し、改善を進めていかなくてはなりません。

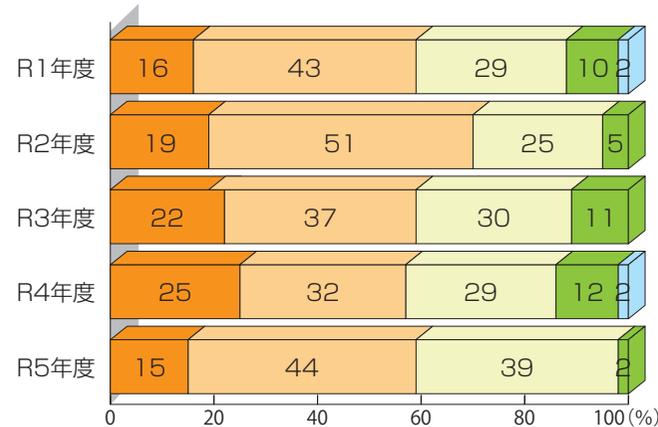


② シラバスや学習相談などについて

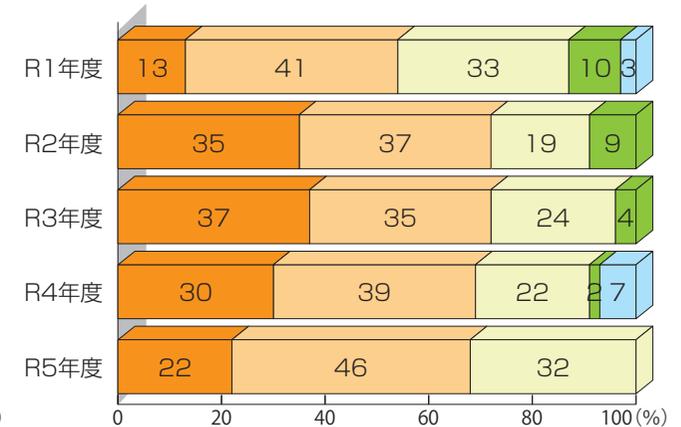


シラバスの分かりやすさ、および学習相談の適切さの「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、令和3年度以降、維持されています。今後、さらにこれらの割合が増加するように、教育改善を進めていかななくてはなりません。

シラバスは分かりやすいですか



学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか

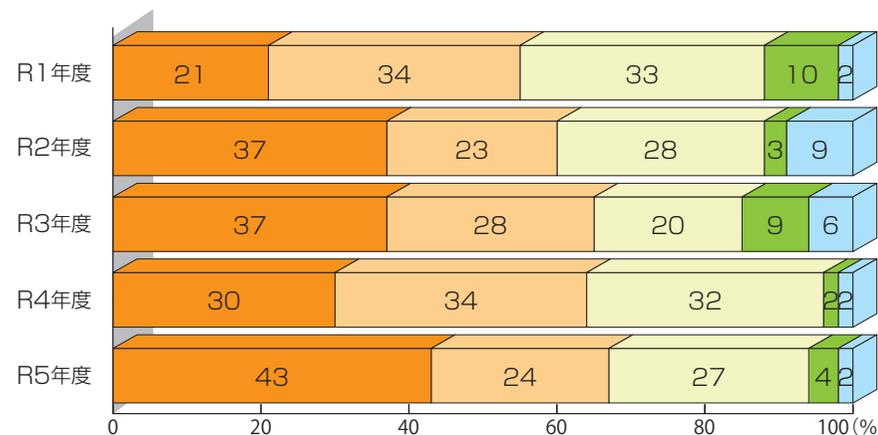


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

③ 研究指導に対する満足度



研究指導に対する満足度の「高い」「少し高い」の割合は、令和2年度以降、6割前後を維持しています。さらに、令和4年度から5年度にかけて満足度の「高い」の割合の大幅な増加が認められました。



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

大学自己評価部会だより

第98号 (令和7年3月)

アンケート調査結果を報告します

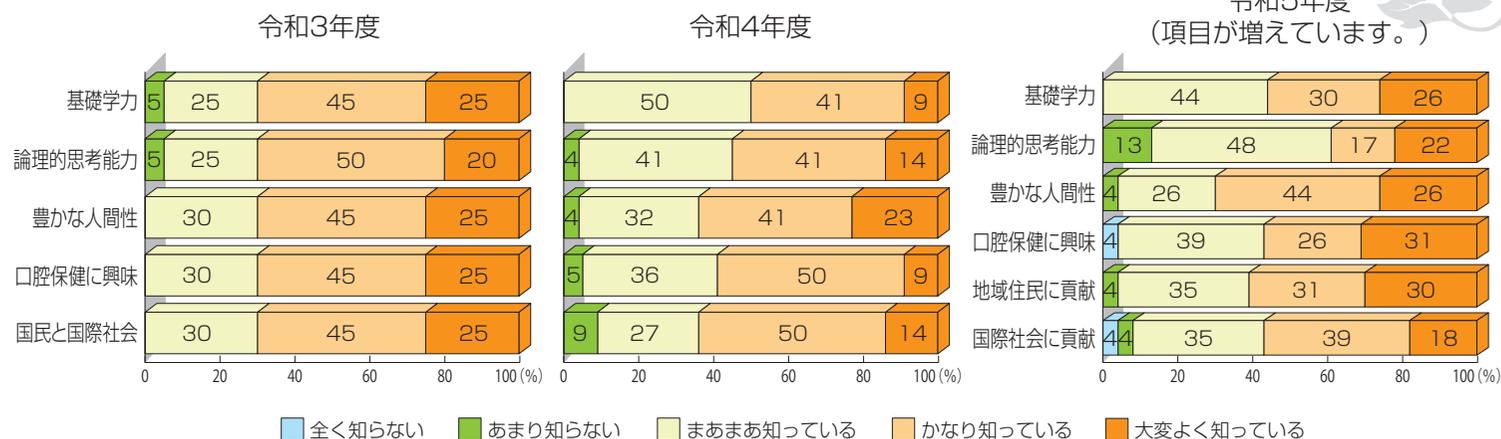
令和3～令和5年度の口腔保健学科1年生および歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

口腔保健学科のアドミッションポリシー（このような学生を求めています）

1. 口腔保健学教育を受けるために必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組む人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 口腔保健及び保健医療福祉に強い目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科衛生士として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 口腔保健活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

① 口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知

令和5年度は令和4年度と比較し、論理的思考能力の項目において「大変よく知っている」、「かなり知っている」の割合が減少しました。今後、本項目を含むすべての項目の周知度の向上を期待します。

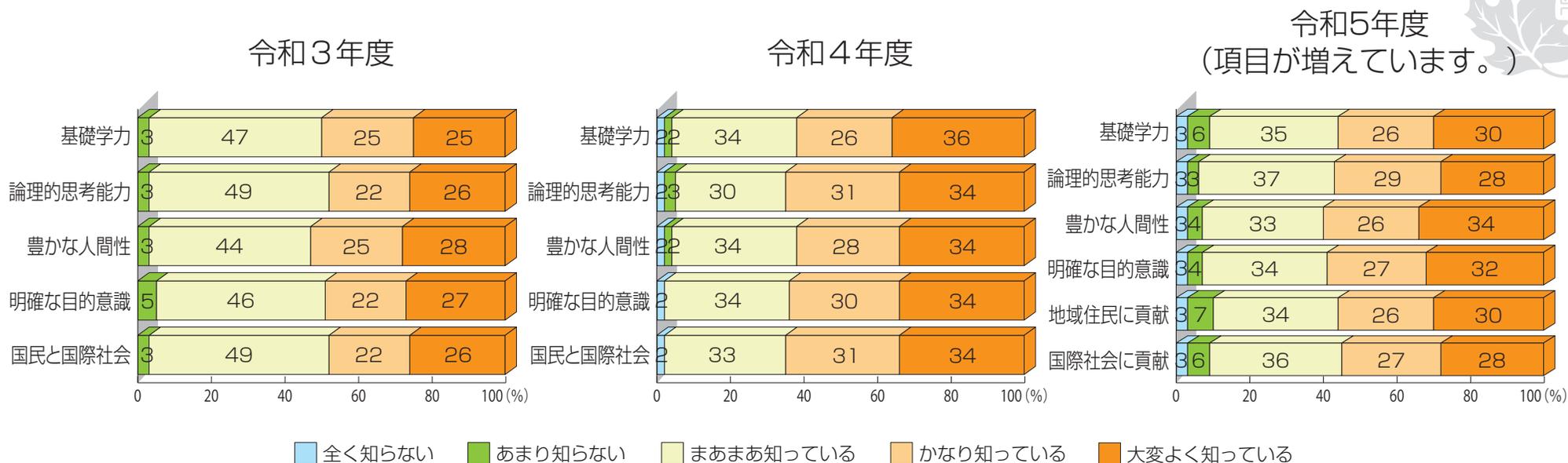


歯学科のアドミッションポリシー（このような学生を求めています）

1. 歯学及び歯科医療の修得に必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 歯学及び歯科医療について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科医師として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 歯科医療活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

② 歯学科におけるアドミッションポリシー周知

令和3年度以降、各項目の周知度は比較的高い状態で保たれており、「全く知らない」、「あまり知らない」の割合も低い状態を維持しています。しかしながら、令和5年度は令和4年度と比較し、基礎学力から明確な目的意識の項目において「大変よく知っている」、「かなり知っている」の割合が減少しました。今後のさらなる周知度の向上を期待します。



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。